

歴史文化基本構想の概要

平成18年に1市6町（3郡）が合併し、三重県境の鈴鹿山脈から琵琶湖までを市域に持つ。市域は、山・里・湖の地域を一級河川愛知川が貫流し、地域ごとに聖徳太子や織田信長にゆかりの地、木地師文化の発祥の地や近江商人の本宅群など豊富で多彩な文化財が市域全域で見られる。これら広範囲にわたる多様な文化財を可視化し、認知と活用の促進を目的に方針を定めた。

観光拠点形成の方向性

- ・「点」の文化財を「線」でつなぐ
- ・鉄道路「線」を活用した「周遊」
- ・参加や体験を通じた国内リピーターや外国人観光客の獲得

観光に関する課題

- ・起点（駅周辺）や経路の案内の不在
- ・個々の文化財同士の繋がりが無い
- ・観光客（外国人含む）向けホスピタリティや提供コンテンツ等の不足

東近江市【滋賀県】 歴史文化基本構想を活用した 観光拠点づくり事業



関西地方

事業概要

聖徳太子関連文化財ガイド育成事業①

市中心部を近江鉄道を起点に、市全域の聖徳太子ゆかりのエピソードや文化財相互の関係性、それぞれの地域の魅力までを語る総合ガイドを養成した。講座では、ガイドとしての文化財の知識のみならず、観光客の視点を理解し、“おもてなし”のための接客技術についても講習した。

KPI ガイド登録者数：8名(H28)→16名(R1)

人材育成



聖徳太子関連文化財ガイド育成事業②

実地講習では、説明の時の立ち位置や説明の視点、誘導の方法や安全管理についても講習した。養成講座も二年目となり、平素は自主的に駅や現地でガイド活動を展開し、自発的に地域の文化財に関わるガイドが養成できた。休日には自主ガイド活動に取り組まれている。

KPI ガイド登録者数：8名(H28)→16名(R1)

人材育成



聖徳太子関連文化財解説冊子作成事業

聖徳太子ゆかりの文化財をテーマごとに紹介、解説する冊子「聖徳太子WO探せvol2」及び市域での分布と経路を概観する地図「聖徳太子WO探す地図」を作製した。昨年度作成した冊子及び地図を併用することで、市域に広がる聖徳太子の足跡を俯瞰的に眺め、訪ねられるものとした。

KPI 東近江市の入込客数：202万人(H28)→220万人(R1)

情報発信



聖徳太子関連文化財モニターツアー事業

鉄道駅を基点として、市内に点在する聖徳太子関連文化財を周遊するモニターツアーを実施した。ツアー参加者にはアンケートをとり、その意見をガイドのスキルアップへの気づきとすることが出来た。また実際に現地を訪れた際の問題点などの指摘もあり、見学地の課題抽出が出来た。

KPI モニターツアー実施回数：0回(H28)→20回(R1)

普及啓発



成果

① ガイド登録者数の増加

昨年度に引き続きガイド講座を募集したところ、のべ33名の応募があり（昨年度14名）、座学や現地研修の結果、受講者の中から新規ガイド登録者を得られた。

② 鉄道駅を起点としたガイド事業の開始

ガイド養成講座やモニターツアーに取り組んだ結果、ガイド登録者が自主的に、近江鉄道駅を基点とした休日ガイド事業を立ち上げた。今後、拠点駅を増やすと共に、バスツアーガイドにも取り組んでいく。

■協議会メンバー
東近江市社会福祉協議会／八日市
市商工会議所／近江鉄道株式会社
社／東近江市観光協会／八日市
地区まちづくり協議会／清水・
小脇街づくり委員会／東近江市

■構想策定年度…
平成二九年三月
■補助事業期間…
平成三〇年四月二日
平成三一年三月二日
平成三一年三月二日